

# 圭陵会FAXニュース

発行所：岩手医科大学圭陵会  
 発行人：石川 育成 編集人：酒井 明夫  
 連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380  
 E-mail: info@keiryokai.gr.jp

第28号内容  
 ・被災者4万人健康調査  
 ・メディカル・メガバンク機構  
 ・今春始動 岩手医大  
 ・いわて「健康づくり」の集い  
 ・いわて東北メディカル・メガバンク  
 機構 発足記念シンポジウム

岩手日報 H25. 1. 26

## メディカル・メガバンク機構 今春始動

今春からの準備期間を経て秋から本格実施する。事業期間は2020年度まで。成人約3万人を対象とする調査と、新生児とその父母、祖母の計約1万人が対象の3世代調査を通して、食生活や被災状況などを調べるほか、血液や尿などの生体試料を集め

### 岩手医大

岩手医大(小川彰理事長)は25日、本県の被災者ら約4万人を対象に健康調査を行い血液などの生体試料を集め、次世代医療の発展に役立つ「いわて東北メディカル・メガバンク機構」を設立、今春から事業を開始すると発表した。生体試料から遺伝子などを調査し、震災ストレスと発病の関連性などを分析。被災地への医師派遣や被災者の健康指導なども実施し、地域医療復興の一助を担う考えだ。

# 被災者4万人健康調査

## 震災ストレスと発病の関連分析

収集した生体試料から健康講演会やセミナーなどは遺伝子などを解析。被災者にも開催。沿岸部の県立災害者の生活環境や震災の影響を研究し、生活習慣病や脳卒中など、ストレスが要因の一つとなる病気の発症メカニズムを探る。研究結果や生体試料などをもとに、予防法や治療法を開発する。

対象は、沿岸12市町村と仮設住宅が多い一関、遠野、住田の3市町に住む被災者ら。参加は強制ではなく、健康診断や特定健診の際に協力を呼び掛けるほか、久慈、宮古、釜石、気仙・両磐の4地域に置いた活動拠点で説明会を開き、参加者を募る。

同機構の機構長を務める祖父江憲治岩手医大副学長は「事業を通して、沿岸の医療を復興し、沿岸を起点にした全県的な健康づくりを行いたい」と話した。

沿岸の活動拠点では、沿岸部の県立災害者の生活環境や震災の影響を研究し、生活習慣病や脳卒中など、ストレスが要因の一つとなる病気の発症メカニズムを探る。研究結果や生体試料などをもとに、予防法や治療法を開発する。

対象は、沿岸12市町村と仮設住宅が多い一関、遠野、住田の3市町に住む被災者ら。参加は強制ではなく、健康診断や特定健診の際に協力を呼び掛けるほか、久慈、宮古、釜石、気仙・両磐の4地域に置いた活動拠点で説明会を開き、参加者を募る。

同機構の機構長を務める祖父江憲治岩手医大副学長は「事業を通して、沿岸の医療を復興し、沿岸を起点にした全県的な健康づくりを行いたい」と話した。

Iwate Medical University 岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構 発足記念シンポジウム



# 「いわて健康づくり」の集い

世代を超えた地域医療のまちづくり

復興から新生をめざして

参加無料

2013年2月2日(土)

13:00~16:00

岩手医科大学矢巾キャンパス  
「大堀記念講堂」

紫波郡矢巾町西徳田2-1-1 岩手医科大学 矢巾キャンパス 本部棟2階

■主催/いわて東北メディカル・メガバンク機構 ■後援/岩手県・岩手県医師会

基調講演



生活習慣病予防の  
明日をひらく  
~半世紀にわたる久山町  
研究からのメッセージ~  
九州大学大学院医学研究院  
環境医学分野 教授  
清原 裕氏



分子を通して自分の  
健康をながめる  
~ながはま0次コホート研究と  
次世代の予防医療~  
京都大学医学研究科附属  
ゲム医学センター長  
松田 文彦氏

いわて東北メディカル・メガバンク機構

事務室/〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1

Tel.019-651-5110 ダイヤルイン5508/5509 Fax.019-698-1826

圭陵会FAXニュース

圭陵会ホームページよりPDF形式でダウンロード頂けます。

■圭陵会ホームページアドレス <http://www.keiryokai.gr.jp>